



Proud!
東日本大震災の復興を支援しよう
Japan

絆のエアールを 菊陽から

東日本大震災復興支援 チャリティーコンサート

3月11日、日本史上最大のマグニチュード9.0の地震が東北地方を襲いました。大地震の発生から2カ月が経過し、被災地で復興に向けた取り組みが進められる中、菊陽町からも「絆のエアール」を送りました。

菊陽町文化協会・菊陽町音楽協会、菊陽吹奏楽団・菊陽町文化の香り高いまちづくり実行委員会は、コンサートを開き被災地を支援しようと考えました。私たちにできることとお客さんに楽しんでもらおう、そして一緒に支援しよう。町内で活動する多くの文化団体、音楽団体がこの思いに賛同しました。

そして5月8日、図書館ホールで開催されたチャリティーコンサートには、42団体・総勢350人が出演。会場には約700人のお客さんが来場し、入場料やオークションなどで81万円を超える義援金が集まりました。義援金は熊本日日新聞社を通して被災地に送られました。

絆のエアールを菊陽から。私たちの願いはただ一つ、一日も早い被災地の復興です。この支援が途切れることなく続くようにと思いを込めながら、エアールを送り続けます。

1. 120人の吹奏楽。壮大な音色を響かせフィナーレを飾った。2. オークションでは切り絵や書道などが出品。3. 愉快な動きで笑いを誘ったひよっこ。4. 太鼓が会場の空気と心を震わせる。5. 被災地に届くように歌声を響かせた。6. 南京玉すだれ。ハートの形はまるで被災地を思う心を表しているよう。7. 華麗な演舞は和の心を再認識させてくれる。8. Superflyの曲で会場から元気を飛ばす。

さまざまな発表を見させてもらって、家族で楽しい時間を過ごせました。町の人たちが一致団結した姿、特に最後の吹奏楽には感動しましたね。たくさんの方の支援も寄せられて、少しでも被災地の力になれたのではないのでしょうか。



中山明男さん 幸子さん 夕佳さん (花立)

今日は娘が演奏をするので見に来ました。娘が「当たり前前の生活の大事さ」を発表したときには、涙が溢れました。当たり前前の生活ができなくなることは、とても大変だと思います。私たちの思いが被災地に届くと良いなと思っています。



上島和美さん 千波さん (緑陽台)

INTERVIEW

